

キャリア教育に協働いただく企業側の

◆ メリット・効果

取り組んだ社員も元気に！

きちんと伝えようとする準備や講演、体験などを実施することにより、社員のモチベーションが上がり、**社員研修の一つ**となる。

生徒に分かりやすく、仕事の内容や思いを伝えることで、社員自身も企業や自己を見直す気付きが生まれ、**自分の仕事に誇りを持つ**ことができる。

自社の教育プログラム作成により、**社内見直し**にも役立つ

自社のことを知ってもらうことで、諸活動に対する子供たちや保護者からの理解が得られる。
(ファン作り)

地域の次世代の担い手となる子供たちの未来づくりに**寄与**できる。

地域に根ざしたキャリア教育の推進により、地域貢献の**企業イメージ**がアップする。

職場見学や体験をきっかけに職場が綺麗になったり、地域で名前が知られたりという小さな積み重ねが**会社全体の活性化**につながることもある

普段なかなか知ることのできない子供、若者の斬新な発想やアイデアに触れることで**企業活動のヒント**につながることもある。

子供たちに何か教えようではなく、実は子供たちからもエネルギーをもらおう**「エネルギー交換」**として考える。

◆ 実例



株式会社 三建設事務所
設計課 プランナー
堀井 堅太

▲深川市立音江中学校

生徒達に働くことへの関心を持ってもらうことを目的に、自身の仕事で設計を選んだ理由や、設計という職業をお話しました。最近住宅を新築された生徒もいたので、身近な職業と感じてもらったのか、真剣に聴いてくれたのが印象的でした。

ワークショップでは自分の家の間取りを描いてもらいました。普段は考えずに生活しているかと思いますが、友達と相談しながら一生懸命考えて描いていく姿は想像以上で感動しました。

授業を通して自分の仕事を子供達に説明する為に、改めて仕事のことを考えたり、子供達に話すことで仕事のやりがいや楽しさを再確認して逆に勉強させてもらいました。今後、家はもちろん将来設計をする生徒が出てくれれば嬉しいなと思います。



株式会社 サッポロドラッグストアー
教育人事部
柿岡 崇文

▲札幌市立青葉中学校

社会人講話で最も配慮したのは「いかにしてキャリアというものを分かりやすくかつ興味深く伝えるか」そして「固定概念に囚われないキャリア選択の自由」を伝えることでした。ですが、いくら内容を熟考しても「初対面の大人の話に興味を抱いてくれるだろうか」という懸念は当日まで私の頭にありました。しかし講座が始まるとすぐに不安は払拭。そこには自分たちの可能性を信じ、積極的に講座やワークに参加してくれる学生たちの真摯な姿がありました。その澄んだ瞳と、彼らの感受性の高さにとても感動を覚えるとともに、今後のキャリア教育の企業としてのあり方や、様々な立場から子どもたちのキャリアを支援する重要性を考える貴重な経験でした。



株式会社 カナリヤ
専務取締役
森吉 泰文

▲札幌市立南ヶ丘中学校

弊社では、職場体験で中学生・高校生を中心に学生さんにお仕事をして頂く機会が時々ございます。弊社では、積極的に職場体験に参加させて頂いています。主な研修内容は、会社の説明・挨拶練習・店内案内・売場実習・全体の振り返りになります。これは社会人にとっても非常に大事です。企業様もどんどん職場体験等で教育に関わっていく事は非常に良い事です。弊社での職場体験で、「楽しかった?」と聞いてみると皆さん「楽しかったです。」と言って頂くのがとても大きな喜びです。これが会社での活力にもなるのです。お互いに感謝をしようという事が非常に重要です。将来的に職場体験をお受けする事は、必ず良い形で会社に返って来ると思います。



有限会社 御菓子司小鹿
取締役専務
小鹿 卓司

▲猿払村立拓心中学校

「人との出会い、視野を広げる事の大切さを伝えたいと考えました。何故、私がお菓子を作っているのか? お客様の微笑が見たいから。「美味しい」の一言が聞けるから。お菓子は多くの人に小さな幸せを与えてくれます。そんなお菓子を作り始めたきっかけから現在に至るまでの間に、全国各地へ出向き、沢山の出会いがあり、学び、知りたい事が増え、発見や体験を会得しました。生徒はまだ最小コミュニティーの中でしか育てていません。これからどんどん他地域に出向き、多くの人に出会い、苦労しながらも人生の糧として欲しいと願います。面白おかしくそんな講話をさせて頂いた中で、少しでも記憶に残り、将来について考えてくれればと思います。

